

2021年12月27日

各位

会社名 株式会社桜井製作所
代表者名 代表取締役社長 櫻井 成二
(コード番号 7255 東証JASDAQ)
問合せ先 取締役部品部部长兼総務部部长 河合 誠一郎
(電話番号 053-432-1711)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、12月9日にスタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年3月31日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間(2024年12月まで)

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は後述の施策を実施することで流通株式時価総額に関し、上場維持基準を充たす所存です。

	株主数(人)	流通株式数(単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	661人	17,926単位	9.0億円	44.8%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書の記載項目			○	

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は2020年度に営業損失及び経常損失並びに親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、かかる業績不振による株価低迷により流通株式時価総額基準への不適合という事態に至ったと認識しております。従いまして、まずは業績回復を図ることが何よりも重要と考えております。かかる業績不振に対して、2021年度以降は経営改革プランを作成し、以下の施策を推進してまいります。

【課題・施策】

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症における世界経済へのマイナスのインパクトを主とした等、懸念材料も多く、事業を取り巻く環境は不透明な状況にあります。

このような状況の中、工作機械製造事業におきましては、ロータリーフライス盤、ターレックス・キュービック(多軸ヘッド交換型専用機)、B-Trim(5軸バリ取りセンター)の標準機の競争力強化に力を注ぐとともに、当社が得意とする高効率専用機の提案型営業販売を進めてまいります。

自動車部品製造事業におきましては、高難度品、高精度品のエンジン廻り部品を中心に受注活動を行い、また、高品質、高い加工技術を活かし航空機部品をはじめとした航空宇宙等成長産業への展開を継続して行ってまいります。特に脱炭素社会への潮流が世界的に加速するなか、電動車(EV)における関連製品(モータケースの加工等)の割合を増やしていく予定であります。

今後も当社は、激変する時代に勝ち抜くため、海外子会社と連携を強化した営業活動を行い、自動車部品加工と工作機械製造の結合企業であるという特性を十分に発揮し、共創に依る製造を展開することでグループ全体の収益確保に努めてまいります。さらに、新型コロナウイルス感染症の収束が短期および長期に渡る影響をそれぞれ別けて分析し、対応できる様万全を期します。

上記施策を確かなものにし、流通株式時価総額基準への適合を図ってまいります。